

令和2年度(2020年度)

管理事業名	大阪外環状線鉄道建設事業			総合計画の体系	大綱 6 政策 1 施策 1	都市形成 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 土地利用誘導と良好な景観形成		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 1	都市計画総務費	
部局名	都市計画部	予算執行所属		都市計画室				
予算大事業名	大阪外環状線鉄道建設事業							
事業の目的と概要		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
【目的】 城東貨物線の施設や用地を活用しながら複線化・電化を行うとともに連絡線を新設し、JR東海道線の新大阪駅から大阪東部地域を経てJR関西線の久宝寺駅にいたる旅客線「おおさか東線」を整備します。 【概要】 大阪府をはじめ沿線各自治体と協議し、第3セクターである大阪外環状鉄道株式会社に、出資、補助、貸付を行います。								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
工事進捗率	%	98	99	100	全体事業費に対する累積執行額の割合
成果の説明	平成20年3月に放出駅から久宝寺駅までの南区間、平成31年3月16日に新大阪駅から久宝寺駅までの北区間が開業し、全線開業となり、吹田市域には南吹田駅が設置されました。 令和2年度は、本建設事業の完遂に向け、開業後の環境影響評価事後再調査及び環境対策工事等が行われました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
在庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	647	734	742	9
その他	576	-	-	-
経常収入 小計(a)	1,223	734	742	9
給与関係費	7,622	7,381	715	△6,666
物件費	-	-	-	-
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	39,990	4,198	1,371	△2,827
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	653	659	66	△593
退職手当引当金繰入額	563	160	△5,575	△5,735
支払利息	9,236	9,673	9,287	△386
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	58,064	22,071	5,863	△16,208
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△56,841	△21,337	△5,121	16,217
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△56,841	△21,337	△5,121	16,217
一般財源充当額	131,233	137,119	144,011	6,892
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	74,393	115,782	138,891	23,109

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	事業従事人数の減による職員人件費等 715千円(△6,666千円)
負担金・補助金・交付金等	令和元年度大阪外環状線鉄道建設事業補助金繰越分 1,371千円(△2,827千円)
退職手当引当金繰入額	事業従事人数の減による退職手当引当金繰入額 △5,575千円(△5,735千円)
支払利息	地方債の発行に伴う支払利息 9,287千円(△386千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	647	734	742	9
行政サービス活動支出	58,172	22,485	12,090	△10,395
行政サービス活動収支差額	△57,525	△21,752	△11,348	10,404
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	188,100	21,443	2,976	△18,467
投資活動収支差額	△188,100	△21,443	△2,976	18,467
財務活動収入	218,500	20,000	1,300	△18,700
財務活動支出	104,108	113,925	130,988	17,063
財務活動収支差額	114,392	△93,925	△129,688	△35,763
収支差額 合計	△131,233	△137,119	△144,011	△6,892
一般財源充当額	131,233	137,119	144,011	6,892
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 大阪外環状線鉄道に貸付けている貸付金の利息分 742千円(+9千円) (投資活動支出) 貸付金繰越分 2,976千円(△18,467千円) (財務活動収入・財務活動支出) 地方債の借入金と償還金
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成30年度	371,030 人	156 円	市民1人あたり、16円のコストがかかっています。(令和3年3月31日現在の吹田市の人口で算出。)平成30年度に全線が開業し、令和元年度以降は残工事等を行っている状況であり、補助金額の減少に伴い、単位あたりコストが、令和元年度と比較し、43円減少しています。
	令和元年度	373,978 人	59 円	
	令和2年度	376,944 人	16 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	131,647	137,183	5,536
未収金	-	-	-	地方債	130,988	137,117	6,129
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	659	66	△593
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	固定負債	786,022	644,571	△141,451
事業用資産	-	-	-	地方債	779,795	643,978	△135,817
有形固定資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
土地	-	-	-	退職手当引当金	6,227	593	△5,634
建物・工作物	-	-	-	リース債務	-	-	-
リース資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	負債の部合計	917,669	781,754	△135,915
無形固定資産	-	-	-	純資産	1,086,974	1,225,865	138,891
インフラ資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	2,004,643	2,007,619	2,976
建設仮勘定	-	-	-	出資金	520,200	520,200	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	1,484,443	1,487,419	2,976
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	2,004,643	2,007,619	2,976	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	520,200	520,200	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	1,484,443	1,487,419	2,976	資産の部合計	2,004,643	2,007,619	2,976
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	2,004,643	2,007,619	2,976				

Ⅲ 財務構造分析

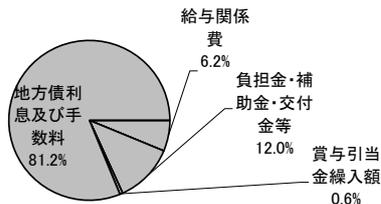
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	0.1人	0日	0日	-4,795
給与関係費等	△4,795千円	0千円	0千円	
内、時間外勤務手当	0千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
長期貸付金	令和元年度(繰越分)の大阪外環状鉄道株式会社への貸付を行っています。(+2,976千円)
地方債	都市高速鉄道事業債。本事業は、地方債による資金調達を行っています。

▽経常費用の構成割合



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		37.5	86.9	98.6	11.7

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、支払利息9,287千円(81.2%)、補助金1,371千円(12.0%)となっています。出資金、補助金、貸付金は、主に地方債により賄っています。但し、貸付金に関しまして、要綱に基づき算出される額以上は起債できないため、平成30年度より一般財源からも充当しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成30年度(2018年度)末に全線開業し、令和2年度は、開業後の環境影響評価事後再調査及び環境対策工事等が行われ、本建設事業は完遂されました。今後は、貸付金が予定通り償還されるよう、引き続き大阪外環状鉄道株式会社に働きかけていきます。